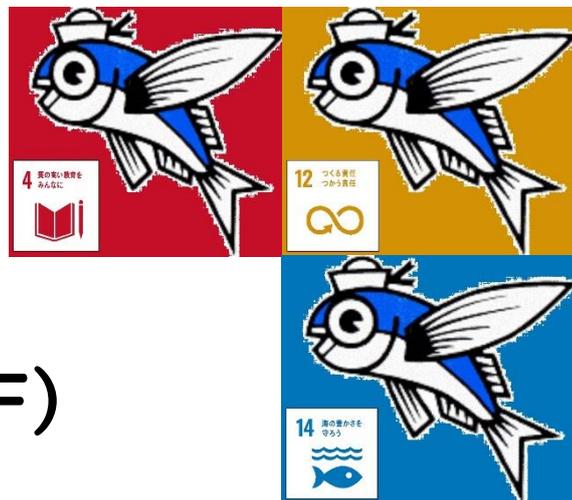


時期	4月～11月	時間	午前 9:00～11:30 午後 13:30～16:00
対象	どなたでも		



## 磯釣り (BF)



### <活動の概要>

長さ約2～3mの「竹ざお」に自分で仕掛けやえさをつけて釣りを楽しめます。安全に気を付け、海を汚したり、他の人々の迷惑になったりしないように心がけながら、釣りの楽しさを味わってください。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

## 活動のねらい

- 磯釣りの楽しさを味わいながら、磯釣りの基本やマナーを身につける。
- 釣った魚は海にもどし、生命の尊さについて考える。また、環境の問題についても意識を高める。
- 活動エリアや周りの人への配慮などのルールを守り、安全に対する意識を高める。

## 準備物

自然の家で準備しているもの	個数	置場所	団体・個人で準備するもの
釣りざお(竹ざお)	90本	【ピロティ】	活動に適した服装
メゴチばさみ	10本	【事務室】	タオル
プライヤー(針はずし)	10本	【事務室】	帽子
バケツ	15個	【ピロティ】	ぬれてもよい運動靴
たも	5本	【ピロティ】	水分
ライフジャケット(小・大)	約300着	【ライフジャケット置場】	
無線機	1個	【事務室】	
	必要数	【食堂事務室】	釣りえさ(420円・約8名分) 事前注文
	必要数	【食堂事務室】	釣りセット(320円) 事前注文



釣りざお



メゴチばさみ



プライヤー



バケツ



たも

※食堂で購入(事前に注文しておく)



※釣りえさ



※釣りセット



ライフジャケット  
(左:子ども用、右:大人用)



無線機

## 活動内容(手順)

所要時間 (目安)	項目	活動内容
活動前	準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 無線をお渡しするので事務室まで来てください。</li> <li>○ 着替えは原則「宿泊棟」でお願いします。退所日の場合は「研修室」等を割振ります。</li> </ul>
15～20分	活動方法の説明と安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 釣りに必要な道具の準備をします。</li> <li>○ 釣りの活動範囲を全員で確認します。</li> <li>○ ライフジャケットは正しく必ず着用して活動をしてください。</li> <li>○ 安全管理(ライフジャケット、針)や道具の使い方について確認をします。 ※資料「トビーの磯釣り教室」を参考にしてください。</li> </ul>
40～60分	活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 餌を針につけ、釣りを始めます。</li> <li>○ 適度に休憩を取ってください。</li> <li>○ 緊急時の時は、無線で事務室に連絡してください。</li> </ul>
15～30分	終了片付け振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動が終了したら、人数と体調不良者がいないか確認をしてください。</li> <li>○ 活動が終了したら、無線機で事務室にお知らせください。</li> <li>○ 道具を元の場所に返してください。</li> <li>○ ライフジャケットは、ファスナー・バックルをしっかりと締めてハンガーにかけてください。</li> <li>○ <u>水気をふき取り、砂を払い落としてから館内に入ってください。</u></li> <li>○ 活動エリアにゴミが落ちていないか確認してください。</li> </ul>

## ふりかえりの視点

- どんな海の魚を釣ることができましたか  
例) 釣った魚の特徴、釣れたとき・釣れなかったときの違い
- 活動エリアから海や生き物を見てどうだったか  
例) 釣れそうな場所の特徴、透き通る海の綺麗さ、活動エリア付近の状況(SDGsの視点)
- 活動を通して感じたことや意識したこと  
例) 釣りをする楽しさ、上手に釣るコツ、仲間への声掛けやアドバイス

## 指導上の留意点

- 裸足・ビーチサンダルでの活動は大変危険ですのでやめてください。
- 環境保護の面から、えさの持込みは禁止しています。
- 釣りえさはオキアミです。事前に食数・クラフト等注文書にて注文し、当日、食堂事務室で受け取ってください。
- 釣りセットとは道系、ウキ、ガン玉、ハリス止、針がセットになったものです。
- 使用後の釣糸、釣針、パック、ビニール袋は、事務室にお持ちください。こちらで処分します。
- 周囲の人に釣針が引っ掛からないように十分に間隔をとってください。
- 投げ釣りは、安全上の観点から禁止しています。
- 釣った魚は必ず海にもどし、活動エリアには残さないでください。
- 突風、雷、暴風や波浪の警報、濃霧などにより、活動を中止することもあります。
- 海象状況によって活動ができない場合があります。
- 熱中症警戒アラートが発表された場合は、団体との協議の上、活動時間の短縮や中止を行う場合があります。

## 活動エリア・海の活動物品保管場所

### トビーのライフジャケット講座

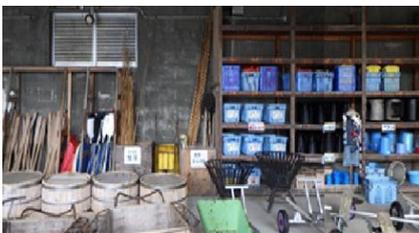
- ☆ライフジャケットは前のファスナーとバックルをしっかりとめよう!
- ☆ライフジャケットを着て、海に入って泳いではいけません!
- ☆ライフジャケットが海水でぬれてしまったら真水で洗おう。(団体旗掲揚台の両脇にホースがあるよ)
- ☆ライフジャケットを使い終わったら、元通りファスナーとバックルを締めてハンガーにかけておいてね!



ライフジャケット  
【ライフジャケット置場】



釣りざお、バケツ、たも  
【ピロティ】



無線  
【自然の家事務室】

